

Interactive Business Reality Show

Who is the **NEXT** CEO?

Immersive Business Adventure Workshop for Future Trailblazers

Prime NEXT Project

Prime LINER

発起人の生き立ちとミッション

沖縄本島の漁師町に生まれた平凡な少年は、地元の大学を卒業後、地場企業の営業マンになった。地元ではいわゆる就職活動の勝ち組、そのまま営業マンとしての道を突き進むものと周囲の人間も思っていた。だが当の発起人は、入社後もこのまま前に進んで良いものか…と常に考え、葛藤する毎日。その先に行きついた答え、それは「地元に貢献したい」。一社会人として貢献意欲の高まりから、一念発起し、出身県の職員へと転身した。

「自身最大の価値発揮を常に、日本社会に広く貢献する」をミッションに、地域社会への貢献から日本社会への貢献と、自己実現のため、自身の視野の広がりに合わせて、都度キャリアを選択してきた発起人は、ビジネスパーソンとしての付加価値を高めるため、10年間勤務した出身県庁を退職し、上京した。

上京後は、コンサルタントとしてクライアントの業務支援に従事し、得意領域を急速に拡大。上京から3年後の2024年4月に独立した。発起人の次の目標は「経営に携わること」。本物のコンサルタントとして、対応可能範囲をより一層拡大し、キャリアアップを続けたい。発起人は、経営の本質を知り、身につけるため、自身で起業し、会社経営を行う道を選択した。

発起人が実現したい世界

発起人が「経営に携わる者」として実現したいこと。それは「付加価値の高い人財」を世に輩出し、身も心も豊かになった「付加価値の高い人財」が次の「付加価値の高い人財」を育てていく好サイクルを創出することにある。

その実現を後押しするべく、発起人はコミュニケーションコストを極力抑え、高品質な商品と高度な仕組みをつくり、それらを掛け合わせた高付加価値商材の世への輩出により、利益を追求する事業モデルを考えた。

当事業のテーマは、「サステナブル×クリエイティブ」。この掛け合わせが「無理しないビジネス、一緒につくろうぜ！」のキャッチにつながっている。

当事業利益創出の根源は、「自分にも他人にも無理をさせない」との考え方による不必要なコミュニケーションコストの抑制にある。当事業において高い利益を生み出すためには、ビジネススキルはさることながら、そこに掛け合わせる「人間力」を同時に養成することが事業成長の鍵となり、付加価値構成要素の大きな柱となる。これは、発起人自身がキャリアを積む中で他者に評価されるポイントであり、その総合力がクライアントに選ばれる理由である。

実現したい世界に共感した精鋭たち

株式会社Prime LINERは、新たな組織を創造するサステナブル・アライアンス・カンパニーをコンセプトに立ち上がったビジネスコミュニティを原点に、会社づくりの新たな形に挑戦する協働者集団である。

特に、社会人財開発事業においては、ビジネス実務体験を通じてビジネスパーソンとしての総合力を高めるジュニア層向けの「Prime NEXT Project」を柱に、新規事業開発をはじめとする様々な体験型プログラムの構築プロセスを通じて協働者自身のレベルアップを図りながら、事業成長を目指すテーマ型ワークショップを実施しており、中でも特徴的な取り組みとなっている。自分のキャリアは自分で切り開くもの。一步踏み出すきっかけを見つけに自分探しの旅をはじめ、未来への道しるべを真っ白なキャンバスに自分で描く。忙しい日々を過ごす中で、なかなか「できそうでできない」ことや「手が届きそうで届かない」ことに挑める土壌のある希少なモデルである当事業。決して易しくはない、高度な自制心と他者愛が求められる、非常に難易度の高い取り組み方である。長い目で見て、世の中に必要とされ得る優しい事業を通じて、広く日本社会への貢献を目指す、会社づくりプロジェクトがいま、幕を開けた。

新たな組織を創造するサステナブルアライアンスカンパニー

the creative company for the “sustainable”

Prime LINER

コンサルティング事業を主軸に利益を創出しつつ、独自の人財開発メソッドを用いて、『無理しないビジネス一緒に作る』をテーマにビジネスジュニア層向けのビジネススタートアップ実務体験（インターンシップ）型の育成プログラムを進めながら、高付加価値社会人財の輩出に貢献し、自社利益を還元することにより、持続可能な好循環型のビジネスモデルを構築する。

本旨

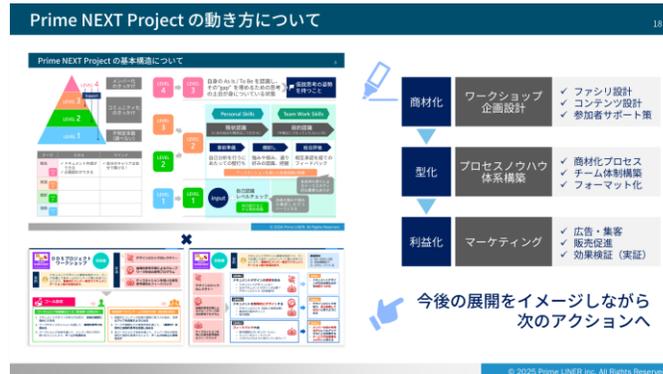
- お金を生み出す仕組みをつくる
- 事業の持続可能性を高める仕組みをつくる
- ビジネスジュニア層育成の仕組みをつくる

将来展開

- 地方創生事業
- 人財交流拠点（コワーキングスペース）事業

We are HR Analytics Laboratory

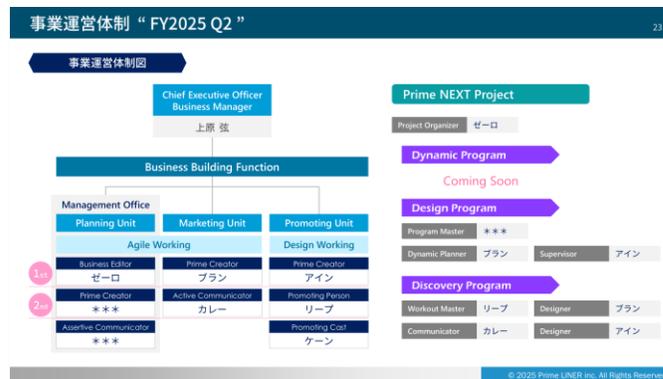
実務体験型



実務を通じたPDCA体験

内省習慣と主体性の醸成

協働組織型



マトリクス型組織の体験

チーム運営障壁の体感

コンサルティング事業

社会人財開発事業

事業戦略



- ◆事業施策立案支援（事業設計）
- ◆事業施策実行支援（事業企画）
- ◆事業施策調査支援（調査設計）

組織人事



- ◆チームビルディング（スタートアップ）支援
- ◆人財育成支援（インターンシップ型）
- ◆ビジネススキルアップ支援（ワークショップ型）

業務推進



- ◆プロジェクトマネジメント支援
- ◆業務推進実行支援
- ◆ビジネスドキュメンテーション支援

新規事業開発



- ◆スタートアッププロジェクト実行支援
- ◆ビジネスコミュニティ（交流拠点）企画運営

コンサルティング事業と社会人財開発事業の相乗効果で高利益サイクルを構築する

Immersive Business Adventure Workshop for Future Trailblazers

Interactive Business Reality Show**Prime NEXT Project****Targets**

- 20代後半から30代前半までのジュニア層
 - 企業などの組織に勤めるポテンシャル層
- ▶ これからビジネスパーソンとしての飛躍が期待できるまたはそうなりたい人

True Passions

- 持続可能なビジネスをつくる
 - 地方でお金を生み出すサイクル（ビジネス）をつくる
- ▶ 都会（東京）から地方への動きを加速する



次世代リーダーを育成しながら
目的を達成し実現する



付加価値の高いビジネスパーソンを育成し
目的を達成できるレベルの人財を創出する

Documentation

Facilitation

Planning

Management

総合力がポイント

ワクワクとほんの少しの成長痛を会社以外の仲間たちと分かちあう 実務体験型ビジネスワークショップ

メンバー自ら
企画設計

メンバー自ら
実践実感

研修・副業に関する意欲・悩みとターゲット選定



なぜ1歩踏み出せないのか

年齢別	20代前半	・本業に集中しており、会社の中で認められたい
	20代後半 ～ 30歳	・本業にも慣れてきて人生において先を考え始める ・金銭的余裕の確保 ・社内外で通用するスキルの確保
悩み	仕事	・研修を受けた後のアウトプットができない ・副業したいけど、何をしたいかわからない ・0→1が難しく、踏み出せない
	プライベート	・女性の場合は特にプライベート優先傾向(研修も出会いの場) ・男性は趣味に没頭しがち ・成功体験に左右されがち

前提条件

- 社会人基礎力
- コミュニケーション力
- 謙虚さ
- 素直さ
- 自己肯定感
- 基礎体力

ターゲット

大企業勤め 年齢25～30歳 意欲的だが手段を知らないジュニア層
ニーズを的確に捉えたアプローチ

© 2024 Prime LINER. All Rights Reserved.

ワークショップ案

1day 対面	<ul style="list-style-type: none"> DDSUWを学ぶ 外部講師講演(起業ストーリー) アウトプットイメージ図解 <p>知る 触れる 考える</p>	 <p>素直さ 謙虚さ</p>
2 自由	<ul style="list-style-type: none"> アウトプット共有 <p>表現する</p>	 <p>社会人基礎力 自己肯定感</p>
3 FB	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの有識者との交流 <p>アドバイスをもらう</p>	 <p>コミュニケーション力</p>
4 楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> テーマパークで存分に遊ぼう! <p>友を見つける</p>	<p>基礎体力</p>

Season2メンバー選定

やれる環境、あつい仲間、コミュニティ化へ

© 2024 Prime LINER. All Rights Reserved.

STEP 1 Documentation

学びのアウトプットを通じて文章化や資料化のレベルを高めつつ、当該フィードバックによる内省習慣を醸成する

STEP 2 Facilitation

傾聴と対話、理解と協力が協働の基礎体力であるため、チーム運営を体感し、実践しながらファシリテートを習得する

STEP 3 Planning

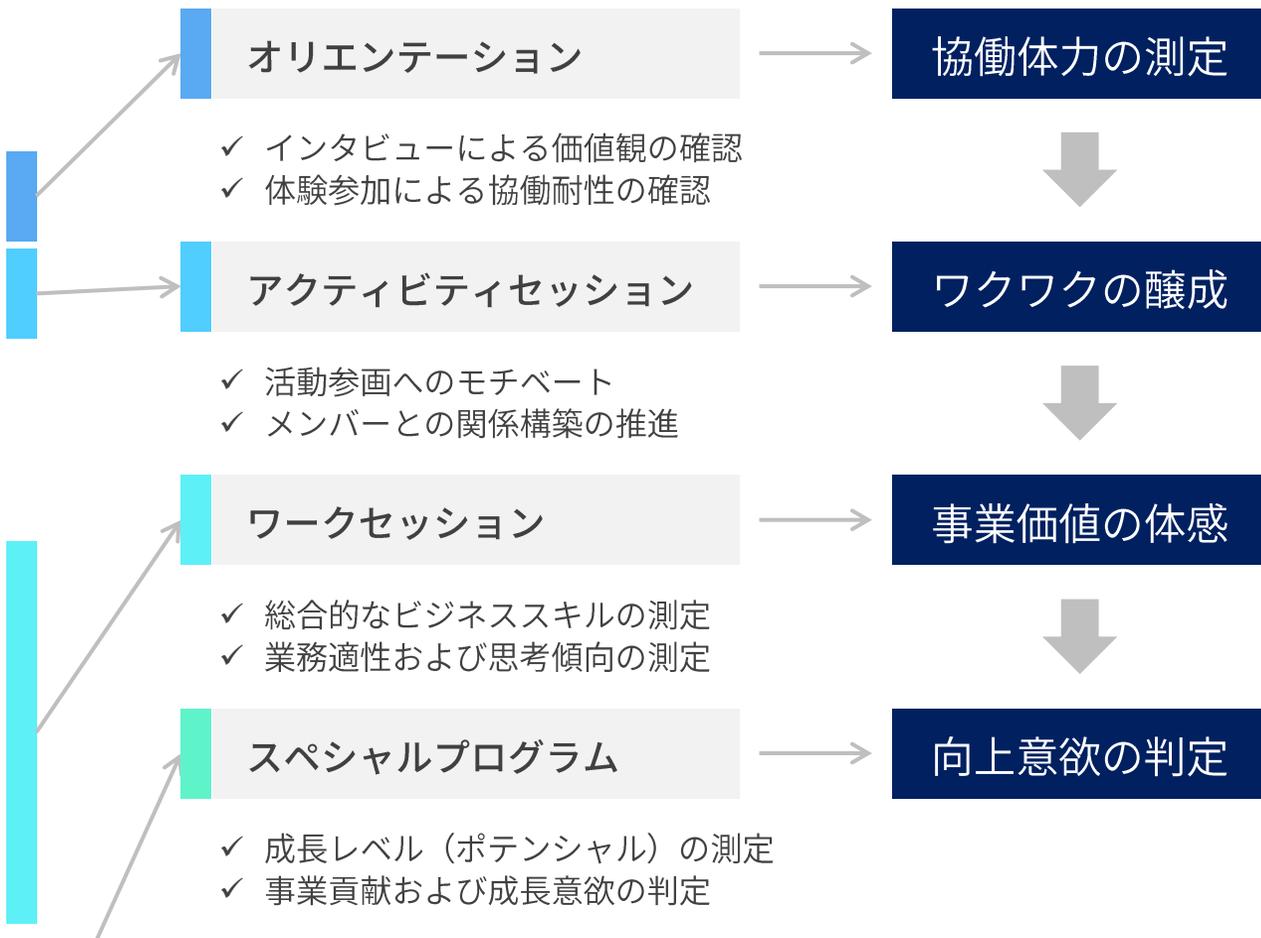
事業開発などの企画設計を通じて総合思考力を高めながら、全工程を実走し、一つでも多くのポータブルスキルを体得する

STEP 4 Management

活動全体の進捗管理や資源配分、協働者間の対話などを通じてマネジメント力を高め、総合型人材として後進育成を手掛ける

ビジネスにはつきもの、想定外の連続だった

	活動概要	在籍数
2024年 4月	◆ 自分たちらしい面白い事業を起こしたいと思う発起人とその元同僚たちによる、PrimeNEXT Project が始動した	3
5月	◆ ワークショップの設計に着手したが、活動に取り組むスタンスや認識の違いが表面化し、議論が空中戦となる	3
6月	◆ 某テーマパークにおいて、チームビルディングとマーケティングを掛け合わせた体験型ワークショップを開催	4
7月	◆ 実施形態をオフラインからオンライン中心へ移行、途端にメンバーの足並みが揃わなくなり一時活動休止となる	5
8月	◆ クラウドソーシングサービスを活用した新メンバーの募集および選考を実施、活動再開の準備を進める	5
9月	◆ 第2期メンバー参画、新メンバー選考過程および商材設計を通じたチームビルディング体験プログラムを実施	11
10月	◆ 第2期メンバー自走化プログラムとして、別組織を設立し、ビジネススタートアップ疑似体験の実証活動を開始	11
11月	◆ 第2期メンバーの1名が逃亡、自己認識と実力レベルの乖離への気づきによるメンタル不良が原因（のちに復帰）	10
12月	◆ 第2期メンバー自走化プログラムの最終月、自走化の目的が立たず、当該全員がフェードアウトしそうになる	8
2025年 1月	◆ 法人設立、逃亡したメンバーの復帰、ビジネスマッチングサービスの活用による新規メンバー選考過程の実施	7
2月	◆ 第2期メンバーを本体組織へ戻すと同時に、プログラムを簡素化の上で再構成し、第3期メンバーを迎え入れる	9
3月	◆ クラウドファンディングを活用した資金調達や新たなプログラムの開発を進めながら、事業の本格化を目指す	8



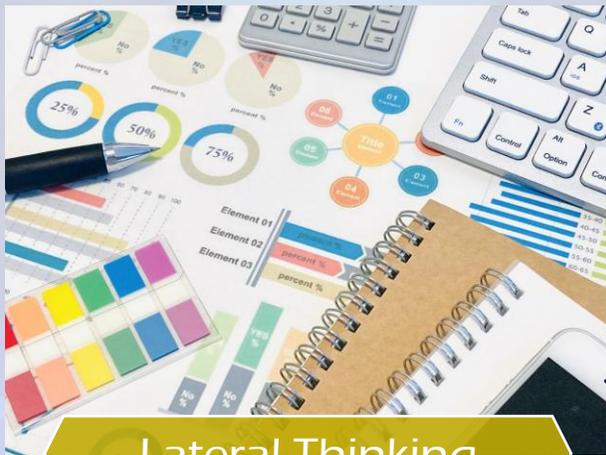
想定外や失敗から生まれた体験型ワークプログラム

Dynamic Working Station

超体感型ワークライフアーティスト・イベントプログラム

Dynamic Working Station

Dynamic Program



Lateral Thinking

新規事業開発を通じて
戦略思考を習慣にする

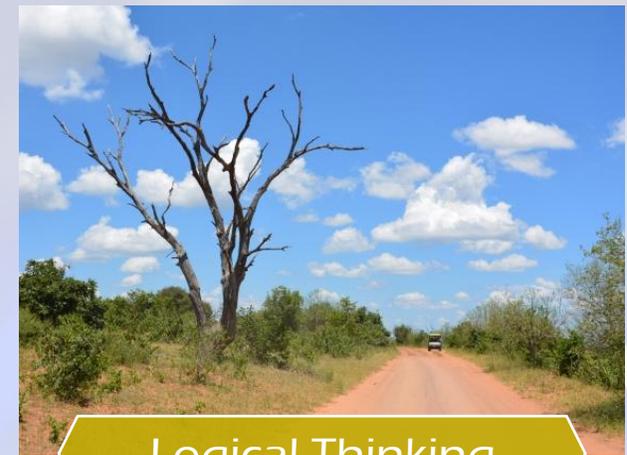
Design Program



Critical Thinking

ワークライフの最適解で
自身の魅力を最大化する

Discovery Program



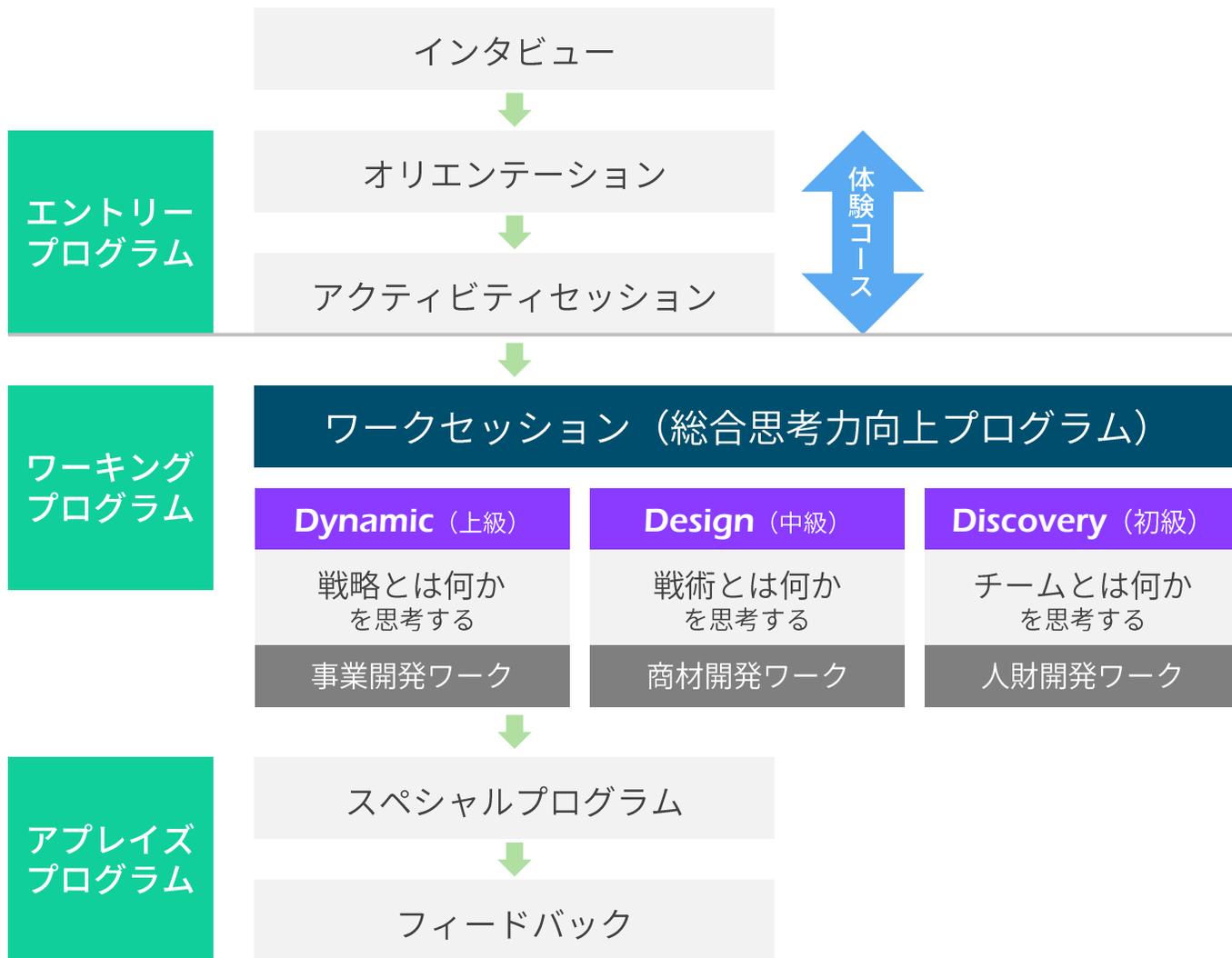
Logical Thinking

高付加価値社会人財の本質に
ついてチーム全員で探求する

スケジュールイメージ

	Summer Term 【4名】	Autumn Term 【8名】
4月	募集活動	
5月	募集活動 インタビュー	
6月	インタビュー オリエンテーション	
7月	アクティビティ セッション	募集活動
8月	ワークセッション	募集活動 インタビュー
9月	ワークセッション	インタビュー オリエンテーション
10月	ワークセッション	アクティビティ セッション
11月	スペシャルプログラム	ワークセッション
12月	フィードバック	ワークセッション

セッションごとのプログラム構成（進め方）



テーマは「マーケティング×チームビルディング」

好きや興味をフックに、楽しいの感覚をフル活用した遊び心満点のワークショッププログラム



Review

マーケティング



世界観（テーマ性）
仕組み・仕掛け・利便性
需要と供給のバランス



顧客満足追求の企業文化が唯一無二のブランドとなり、世界的テーマパークへと発展を遂げた

チームビルディング



動機形成の容易性
わかりやすいコンテンツ
机上と実際のギャップ体験



事前の企画設計はもとより、当日の巻き込みや仕掛け、考察の仕方も今後のポイントとなり得る

所感

本プログラムを通じて、遊び心をマーケティングに活かしながら、エンターテインメントを融合し、ビジネスへ昇華させることの面白さに気づき、さらに、チームビルディングの難しさを改めて認識した。日常生活において、これらを同時に体験できる機会は滅多にないので、本プログラムそのものに対する今後への可能性を大いに感じた。

考え方や価値観は人それぞれ、多様性の時代を生きる僕ら 自己認識と他者理解は「無理しない」を体現する第一歩となる



30代

声でも顔でも文章でも、普段からやりとりをしていけば、なんとなく違和感を感じ取れはするものかなと思っていて、感情の変化を感じ、相手してくれる人に対しては自分の事も開示しやすいので、その感情の発信・受信が円滑に行われるっていうのは社会活動において、とっっっても大事なことだと思っています。



20代

これまでの業務の中で、いろんな領域を見たことはあるけど、極めたことはない「浅く広い」人材で、アイデアを考えるときも、データも見つつもユーザーインサイトを考えてしまう「感情型」人材であることがコンプレックスだったのですが、「橋渡し」や「共感型」の人材が強みにもなり得るということを知り、自信になりました。



20代

タスクを受けた側が単なる作業者となり、指示待ち人間になってしまう、指示されていないことはしない人間になってしまうリスクもある中で、部下の気が利かないと思っているのは、自分の指示が原因かもしれないし、上司が命令ばかりしてくると思っているのは、自分の主体性に原因があるのかもしれないと気づかされました。



30代

プロジェクト炎上などの有事のときに、MTGの場で対応策がしっかり練られていたり、全員で「フォローしながら頑張ろう！」というようなことが伝えられたら、かなりチームの雰囲気は良くなるように感じており、逆に、その場で責任追及が始まったり、叱責が多くなっているときには、全体的な雰囲気も悪くなってしまいますね。



20代

人ごとに適性のある仕事や育成の仕方を見極めるスキルが上司には必要になっていくと考えているので、育成を始める一番最初の段階で性格や属性、これまでどんな人生を歩んできたかを少しでも理解することで、育成に及ぼす影響は数段変わってくると思います。これから、より個人フォーカスした教育が重要になるかと考えます。



30代

ビジネスは一人でできないことばかりで、自らの思いだけで突っ走らず、常に利他的な気持ちを持って考え、行動ができれば良いサービスもつくれますし、何より応援してくれる人ができてくると思いますので、私も未熟ですが、この気持ちは常に心がけるようにしています。これを機に私もより一層意識しながら日々尽力します！

Prime NEXT Project Players File



AI生成画像

エクスペディション

カレー

戦闘力
5

出身 東北地方

年代 30代

業界 ヘルスケア業界

One Heart Emotions

等身大の自分が最大の武器
現実と理想の狭間を旅する探検家

自身の感情と直感を固く信じ、弱さや不出来な点を率直に話せる親しみやすさと、他者の意見を積極的に聞き入れようとする素直さを兼ね備えた、好奇心旺盛の探検家。理想と現実のギャップに悩みながらも、自身の考えを深めようとする姿勢は等身大そのもの。果たしてこれから、真の自分らしさを見つけることができるのか。



AI生成画像

フライング

リープ

戦闘力
6

出身 関東地方

年代 20代

業界 フリーランス

Floating Sky High

持続可能な未来をデザインし
チームを成功へ導く共感型リーダー

社会貢献への強い意志と持続可能な未来を創造しようとする情熱。自らの信念に基づき周囲を巻き込み、目標達成とメンバーの声に真摯に向き合うリーダーシップ。冷静かつ柔軟な思考で着実に成果を積み重ねる実務能力は、まさに新時代の共感型リーダー。これからも常に自己成長を追求し、新しい価値を創造し続ける。



AI生成画像

エクスプローラー

ケーン

戦闘力
9

出身 関東地方

年代 30代

業界 IT業界

Go Beyond Limits

貢献と成長を両立させたい
学び続ける自立志向の探求者

周囲への貢献により自己成長を目指す、向上心と自立心。自身の課題を客観的に分析しながら、改善策を模索する姿勢は、内省力の高さを物語る。失敗やリスクは極力避けたい傾向にあるものの、常に自身に向き合い、着実に成長しようとする誠実かつひたむきに取り組む姿は、メンバーの誰もが認める一級品。自分探しの道はこれからも続く。

Prime NEXT Project Players File



AI生成画像

レベルアップドライバー

アイン

戦闘力
10

出身 東北地方

年代 30代

業界 IT業界

Maximize Your Brave Mind

学び続ける向上心と熱意で
着実に成果を積み重ねる実務家

他者への感謝と尊重を心がけ、業務上でもアドバイザーとの積極的な議論を経ての資料テンプレート化など、効率化と質向上に貢献。実務のレベルアップとともに、メンバー成長の重要性に対する認識の高まりから、今後はメンバー育成にも挑戦。振り返りと改善を習慣化し、学び続ける姿勢をもって、次なる目標へと駆け上がる。



AI生成画像

フライトアナリスト

ブラン

戦闘力
11

出身 東北地方

年代 20代

業界 通信業界

Way to Challenging Adventure

成長を原動力に冷静と情熱の融合で
未来を切り拓く若き挑戦者

自己成長に貪欲で、自身の成長を原動力に、着実にレベルアップを目指すメンバーとしての努力家。「メンバーの想いの統一」を心がけ行動し、他者との協調性を重視する誠実さと社会貢献への意識は、信頼力を一層増強する。主観と客観を使い分けた冷静な分析力と習慣化で高めた思考力を武器に、ビジネスの真髄を追い求める。



AI生成画像

アジャイルリーダー

ゼロ

戦闘力
13

出身 九州地方

年代 30代

業界 通信業界

Transformed Our Future

「利他の心」で事業を創る
自己変革をビジネス変革のステージへ

自身の成長を追求し、新たなビジネスの創造に情熱を注ぐ開拓者。限られたリソースの中で成果の最大化を目指す姿勢は、メンバーを圧巻する。変化を恐れず立ち向かう勇敢さと柔軟性を併せ持ち、思考力・洞察力・対応力を掛け合わせた本プロジェクトのオーガナイザー。次世代の育成を成功させ、正真正銘のビジネス変革者へ。

失敗したっていい、それが等身大の僕らだから
あとは、ただただ前に進むだけ

失敗と偶然の産物が次のステージへと誘う

エンタメワーキング

アクティビティセッション事例

テーマは「マーケティング×チームビルディング」
好きな興味を軸に、新しい感覚を体験しながら楽しく学べるワークショッププログラム

Review

- マーケティング**
 - 新感覚、1700名！
 - 体験型・参加型・時間短縮型の企画プログラム
- チームビルディング**
 - 最新の企画設計により、誰もが参加しやすい、最新の企画プログラム
- 領域**
 - 本プロジェクトを通じて、新たなマーケティング領域に広がる視野、オンラインイベントを開催し、1000名以上参加した。この経験から、今後の活動に活かす。

世の中にすでに存在するものでありながら、その意外性や発想の転換で組み合わせられた掛け算により、本事業ならではの独創性をつくり出す
※本物の写真ではありません※

体験型選考プロセス

Prime NEXT Project ワークショップ

ドキュメントデザイン スキルアップワークショップ
the self-discovery-design program

- LEVEL 4 新たな自分を発見！ output feedback
- LEVEL 3α 仕事の面白さを発見！ planning team work
- LEVEL 3 視野を広げて発見！ practice group work
- LEVEL 2 やってみて発見！ practice self work
- LEVEL 1 ドキュメントデザインを発見！ guidance input

個人の生き方や働き方の価値観が実務体験を通じてアウトプットされる、心理学的アプローチを取り入れたプログラムの開発は、同時に体験型選考のプロセスを体系化した

行動マーケティング

Prime Performance Appraisal Systems

Business Performance Appraisal

Standard Monthly Working Hours (標準月間労働時間) × Designated Assignment (指定業務)

Standard Monthly Remuneration (標準月間報酬) + Personal Performance Fee (個人業績報酬)

実務体験を通じて得られるアウトプットや行動習性、思考傾向を多面的に測定・分析し、社会人財価値を数値化および言語化、マーケティングや評価制度に応用した

生成AI活用

Prime NEXT Project Player's File

アイン (AINO) 新入社員

フラン (FURAN) 新入社員

ゼロ (ZERO) 新入社員

活動時に研究した生成AIと蓄積した本人行動データを掛け合わせ、人物分析をはじめ、画像やコピーなどのパーツを作成し、本資料に活用した
※本人の写真ではありません※

Prime LINER について

新たな組織を創造するサステナブルアライアンスカンパニー

the creative company for the "sustainable"

Prime LINER

We are HR Analytics Laboratory

実務を通じた PDCA体験

内省習慣と主体性の醸成

マトリクス型組織の体験

チーム運営 障壁の体験

実務体験型

協働組織型

コンサルティング事業を主軸に利益を創出しつつ、独自の人材開発メソッドを用いて、「無理しないビジネス一緒に作る」をテーマにビジネスジュニア層向けのビジネススタートアップ実務体験（インターンシップ）型の育成プログラムを進めながら、高付加価値社会人財の輩出に貢献し、自社利益を還元することにより、持続可能な好循環型のビジネスモデルを構築する。

本旨

- ▶ お金を生み出す仕組みをつくる
- ▶ 事業の持続可能性を高める仕組みをつくる
- ▶ ビジネスジュニア層育成の仕組みをつくる

将来展開

- ▶ 地方創生事業
- ▶ 人材交流拠点（コワーキングスペース）事業

© 2025 Prime LINER Inc. All Rights Reserved. 2

make the sustainable and the high performance business, together!

商号 株式会社Prime LINER

本店所在地 東京都千代田区九段南

法人設立日 2025年1月22日

資本金 200万円

事業内容 コンサルティング事業 ほか

代表者 代表取締役 上原 弦

Prime LINER 事業について

PrimeNEXT Project

コンサルティング事業

社会人財開発事業

事業戦略

- ◆ 事業施策立案支援（事業設計）
- ◆ 事業施策実行支援（事業企画）
- ◆ 事業施策調査支援（調査設計）

組織人事

- ◆ チームビルディング（スタートアップ）支援
- ◆ 人材育成支援（インターンシップ型）
- ◆ ビジネススキルアップ支援（ワークショップ型）

業務推進

- ◆ プロジェクトマネジメント支援
- ◆ 業務推進実行支援
- ◆ ビジネスドキュメンテーション支援

新規事業開発

- ◆ スタートアッププロジェクト実行支援
- ◆ ビジネスコミュニティ（交流拠点）企画運営

コンサルティング事業と社会人財開発事業の相乗効果で高利益サイクルを構築する

© 2025 Prime LINER Inc. All Rights Reserved. 3



make the sustainable and the high performance business, together!



the creative company for the **“sustainable”**

Prime LINER